

本市の投票率は50.64%

第26回参議院議員通常選挙の結果と投票率

任期満了に伴う第26回参議院議員通常選挙は7月10日、投・開票が行われ、岩手選挙区で広瀬めぐみ氏(自由民主党)が264,422票を獲得し、初当選を果たしました。

本市での得票数は、広瀬氏5,863票、木戸口英司氏(立憲民主党)3,859票、白鳥顕志氏(参政党)452票、大越裕子氏(無所属)241票、松田隆嗣氏(NHK党)218票。投票日当日の有権者数(岩手選挙区)は2万1429人で、投票率は50.64%と前回(令和元年参議院議員通常選挙)の51.38%を0.74%下回りました。

期日前投票者数は、4,855人(男2,264人、女2,591人)、期日前投票率は22.61%で、前回の22.05%より0.56%上回りました。

市選挙管理委員会(澤口進委員長)は、投票箱や記載台を積んだ大型バスで市内6カ所を巡回する移動期日前投票所を7月6日に実施。移動期日前投票所では90人が投票し、昨年の衆議院議員総選挙の105人を15人下回りました。利用者は「車の免許を持っていないので助かる」「歩いて行ける距離に投票所ができて嬉しい」と、笑顔で一票を投じていました。

平館高(北島亨校長、生徒151人)では、18歳以上の選挙権のある生徒7人中4人が移動期日前投票所で投票。若年層の政治離れが叫ばれている中で、選挙に関心を持つことの大切さを再確認していました。

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係(☎・内線1202)



バスによる移動期日前投票所で投票する平館高生

地域安全を守る活動に尽力

岩手警察署長から警察協力者に感謝状を贈呈

岩手警察署長感謝状贈呈式は7月1日、岩手警察署で行われ、市交通指導隊西根地区隊、市防犯協会西根支部・安代支部の3団体と同隊などに所属する3人に感謝状が贈られました。

感謝状は地域に密着した交通安全指導や防犯パトロールなどの活動が評価されたもので、同隊西根地区隊に所属する安藤徹さん(写真右から2番目)＝共新＝は「今後も子どもたちや高齢者の安全を守っていきたい」と意気込みました。



岩手警察署長感謝状が贈られた皆さん



第16回市畜産共進会黒毛和種の部で佐々木勝仁さんの「みくに」が名誉賞(7月8日、市畜産共進会場)



平館子ども園の年長児16人が人権の花を植え、思いやりの心を育む(6月27日、平館子ども園園庭)



市体育協会が4歳から6歳までの未就学児を対象にキッズサッカー教室を開催(6月19日、鬼清水球場)

頂上で喜びを分かち合う

岩手山山開きを行い、3市町が山頂で交歓



岩手山山頂で登頂を喜ぶ登山隊

岩手山山開きは7月1日、岩手山焼走り国際交流村で行われ、関係者50人が参加し、山の安全を祈願しました。

本年度は3年ぶりに登山隊を編成し登山を実施。吹き出る汗を拭いながら歩みを進め、山頂で雫石町、滝沢市の登山隊と喜びを分かち合いました。

市山岳協会の高橋時夫会長は「コマクサなども見頃で、周辺市町とのピッケル交換も実施できた」と交流と岩手山の恵みに感謝しました。



穴をあけ、ムラサキの苗を丁寧に植える生徒たち

紫根染めの伝統受け継ぐ

2年後の収穫を目指しムラサキを植え付け

平館高1年生52人は6月16日、魅力ある学校づくりの一環で校章のモチーフになっている「ムラサキ」を学校近くの裏山に植え付けました。

この取り組みは14年前から始まり、育てたムラサキは卒業式で卒業生の胸を飾るコーサージュを染めるために使われます。

植え付けを体験した遠藤玲於さんは「入学してからムラサキを知った。平高の伝統を引き継ぐ活動に参加できてよかった」と感想を述べました。

遊休農地解消へ現地確認

農地の日に合わせて農地パトロールを実施

市農業委員会松尾地区調査会(古川美枝子地区長)は7月15日、遊休農地の実態把握を目的に農地パトロールを行いました。

開始に先立ち、古川地区長は「図面を参考に、実際に現地を確認して実態把握に取り組みましょう」と挨拶、地区内に点在する遊休農地の現地確認を行いました。

農地利用最適化推進委員の小原ふく子さんは「条件が悪く受け手が何年も見つからない農地もある。少しでも解消できるよう取り組みたい」と力を込めました。



タブレットの図面情報を見ながら現地を確認する委員

相談者と同じ目線で対話

長年の人権擁護活動に法務大臣から感謝状

退任人権擁護委員法務大臣感謝状贈呈式は7月12日、市役所で行われ、村瀬誠さん=柏台三丁目=に盛岡地方務局長から感謝状が伝達されました。

長野県出身で35歳の時に移住。民生委員なども務め、平成22年から人権擁護委員に従事。相談者の目線で話すことを心掛け、相談・啓発活動に取り組みました。

村瀬さんは「最近ではコロナの影響で思うような活動はできなかったが、12年間自分なりに精一杯頑張った」と充実感をにじませました。



退任後も要望があれば相談に乗りたいと話す村瀬さん



みどりの誓いを宣誓する松尾中生徒

緑豊かなふるさとを誓う

来年の全国植樹祭に向け機運を盛り上げる

陸前高田市で来年度行われる全国植樹祭の1年前記念イベントは7月9日、県民の森で行われ、寄木小児童による鼓笛隊演奏や記念植樹、大会テーマソングの発表など、本番に向けて機運を盛り上げました。

松尾中2年生の生徒14名は、大勢の招待者の前で「森や自然を大切にするとみどりの誓いを宣誓すると、会場には大きな拍手が響き渡りました。

全国植樹祭は昭和49年に当市の県民の森で行われており、来年度の開催は本県では2回目となります。



採用担当者や進路担当者による情報交換

企業と学校が情報交換

生徒の進路指導に役立つ懇談会を開催

市企業懇談会は6月30日、企業と生徒をつなぐ場として市企業懇談会・市商工会工業部会・県内高等学校との懇談会を開きました。

市内16の企業と県内7校が参加。企業と生徒のミスマッチを防ぐため、採用条件や進路状況などの情報を交換し合いました。

岩手農協チキンフーズ(株)八幡平工場の伊藤耕太課長代理は「高校生の進路状況を聞けるのはとても貴重。人材発掘に役立っている」と期待を寄せました。

すなっぷギャラリー



平笠小の4年生3人が小屋の沢配水池を見学し、水道水ができるまでを学ぶ(6月24日、平笠小社会科見学)



自然の生態系を身近に感じられる空間(ビオトープ)の環境整備を行う(7月13日、寺田水環境保全協議会)



田頭小の4~6年生の児童28人が3年ぶりに鶴山陣太鼓を披露(7月12日、むらさき苑)



犯罪や非行のない社会を目指し、岩手地区保護司会が内閣総理大臣メッセージを手交(7月1日、市役所)



県民体ラグビー(成年)競技で八幡平クラブ(緑横編)がBブロックで優勝を果たす(6月25日、市ラグビー場)